

今日は白山神社！

筑豊の
素敵な神様
紹介します



白山神社



神社の歴史 History

白山神社は全国2000社以上あり、石川県の白山比咩神社が本宮とされています。
霊峰(※1)「白山」を神体山として白山比咩大神（菊理姫命）奉斎(※2)、
崇神天皇（第10代天皇）の時に創立されたと伝えられています。
1530年頃、加賀の国（石川県）から鎌倉の合戦に出陣して敗れた
白神玄藩（しらかみげんぱ）公は、飯塚市上三緒の地に辿りついたとされ、
背負っていたご神体をこの地の氏神として、祭ったと伝えられます。

※1 霊峰＝霊妙な山。神仏などが祭ってある山。信仰の対象として、神聖視されている山。
※2 奉斎＝神仏をつつしんで祀（まつ）ること。

和合の神・縁結びの神

日本書記によると、伊邪那岐（イザナギ）と伊邪那美（イザナミ）は夫婦の神様として誕生しました。
伊邪那美は火の神を出産した後、全身にやけどを負い亡くなってしまうのです。伊邪那岐は伊邪那美の死を悲しみ、耐えに耐えきれず死の国「黄泉の国」へと向い伊邪那美を連れ戻そうとするのですが、余にも変わり果てた伊邪那美の姿を見て驚いた伊邪那岐は黄泉の国を逃げ出して戻ろうとするのです。
その姿を見て怒った伊邪那美が伊邪那岐の後を追いかけて二人は争うことになりました。その時、黄泉の国との境で喧嘩するふたりの前に現れ、伊邪那岐と伊邪那美の間を取り持ち両者の言葉を聞き調和をはかった神様が菊理姫命（くくりひめみこと）だったのです。その事から和合の神・縁結びの神として崇敬を受けるようになり、その姿は、神と人間の間に立って託宣を受ける巫女のようなであったと文献にも記されています。

神社のあれこれ教えます！

チェック!!

皆さんは、エジプトのピラミッドや神殿に「菊の紋章」があることをご存知ですか？
遺跡からも数多くの菊の紋が発見され菊理姫命は、エジプトのイシス神とも繋がりがあ
るのではないかとされています。イシスは「天界」と「地上」をつなぐ役目の神様と
され、また菊理姫命も「この世」と「あの世」つなぐ役目の神様とされ、同じような役
目の神様という説があります。

教えて御祭神

- 菊理姫命（くくりひめみこと）＝和合の神・縁結びの神
- 伊邪那岐命（イザナギノミコト）＝国生み
- 伊邪那美命（イザナミノミコト）＝神生み ※伊邪那岐命は伊邪那美命のご夫婦の神様です。

どこにあるの？

住 所 / 〒820-0013 飯塚市上三緒618番地
TEL / 0948-22-7079

宮司さんからひとこと♪

子供の時は境内が遊び場でした。
氏子の皆さんのご協力を頂いて神社
とふるさとの緑の杜を次の世代に伝
えたいと思います。

16代宮司 西田 盛嗣さん

